

会長案について

芦屋市子ども・若者計画【骨子案2】において下記の着色部の追加変更を検討願います。

① 5 ページ

基本的な考え方

1 基本理念

本来、人は年齢に応じた経験を重ね、人間関係を築き、社会に参加し、そして自立していくものですが、ひきこもりやニート、不登校の子ども・若者は、これらの経験を十分に重ねる機会に恵まれなかったうえに、ひきこもり状態が長期化したことで年齢相応の社会経験を積む機会を失い、社会から孤立した状態にあります。そのため再び社会参加しようと思っても、同世代の大半が既に年齢相応の社会経験を積んで次の課題に向き合っているところに合流し、一緒に進み始めることは容易なことではありません。彼らの社会参加を促すためには、育ち直しを支える丁寧なケアと家庭的・社会的な支援が必要となります。

以上の認識に立って、本市の子ども・若者が、豊かな社会的経験を重ねるための環境整備と情報発信を行うとともに、ひきこもりや不登校の状態にある子ども・若者が、人とのつながりの中で、自分らしさを取り戻し、社会の中で自分の居場所を見つけ、自立に向かって動き出せるように支援を行います。

【基本理念】

【重点目標】

【取組の方向】

(仮) 人とのつながりを大切にし、自分らしさを見つける

